

渡部 無念の上り坂

最終盤 遠のく背中

後半の距離。残り1分を切った長い上り坂だった。4人の先頭集団にいた渡部は、「来るなど思っていたし、僕も行くつもりだった」。ライバルが目前にいた。フレンツェルだ。

がに股で力強く上っていくドイツ人に食らいつく。だが、追いつかない。下りで、ぐっと離された。両手を広げて叫んだ前回王者の背中から、遅れること4秒8。渡部は、控えめに右拳を掲げてゴールした。

4年前のソチ五輪個人ノーマルヒルのフィニッシュ場が重なる。その時も、4秒差で競り負けたのがフレンツェルだった。今回は約30秒前の首位をともに追った。8秒先に出た渡部は、1分過ぎにもフレンツェルに並ばれた。4分付近で先頭集団に。そこから、「暗黙の了解」で交互に



銀メダルを獲得した渡部暁斗。手前は優勝したエリック・フレンツェル＝林敏行撮影

銀 **個人ノーマルヒル** **複合**

前に出て、レースを引っ張った。先頭を走ると風を受けて消耗する。だから、なるべく集団の後方に控える選手が多い。だが2人は違う。フェアな勝負をして勝利を目指す。渡部は「だから彼を尊敬できる」。全力で挑んだ末の決着を受けとめ、表情はすがすがしかった。

ジャンプで大きなリードを奪って、逃げ切る必勝パターンには持ち込めなかった。20日の個人ノーマルヒルにむけ、その展開に持ち込まなければ金メダルは厳しいというところを改めて思い知らされた。二つ目の五輪銀メダルを手にした渡部は言う。「4年前は持っていないものを初めて取り、気持ち良かった。今回は取るべくして取った。これで目標とする、もう一ついい色のメダルを取ることに集中できる」

(勝負壮士)

高橋大斗 絶好の展開 逃す

金メダルを見たかったが、渡部暁の連続メダル獲得にほっとした。前半のジャンプでより大きくリードを広げるのが理想的だったが、心配された風の影響もそれほどなく、渡部暁にとっては絶好の展開だった。優勝したフレンツェルは今季、安定してはなかったが、改めて本番に強いことを示した。後半の距離でレース全体を引っ張った上で、最後に見せた走力はさすがだ。フレンツェルには残り1分を切ったあとの上り坂で離された。最後の勝負にどう持ち込むかを考えたら、あの上りに入る時点でフレンツェルの前に出ていたかった。

そうならば、最後の直線まで勝負はもつれたし、チャンスはあったと思う。残るラージヒルは、ジャンプ次第でより大きなタイム差を稼げる。渡部暁のジャンプの調子はいい。距離では地力の差があるが、ジャンプで差をつけられれば、おもしろいレース展開になるはずだ。

ラージヒルもジャンプ、距離ともに風の影響をどう生かすかが大事になるだろう。渡部暁は器用で冷静にレースを展開できる選手。強風の攻略という点では、心配していない。(ソルトレークシニエー、トリノ、バンクーバー五輪複合日本代表)

ソチ王者 勝負強さ 圧巻

ソチ五輪金のフレンツェル(ドイツ)は終盤の上り坂で渡部暁を突き放し、2連覇を遂げた。W杯通算42勝。総合5連覇中だが、今季は精彩を欠き、総合8位で今大会に臨んでいた。この日は前半のジャンプ5位から追い上げた。「五輪で金メダルを取ることが大きなモチベーションだった」と胸を張った29歳。ここの勝負強さは圧巻だった。

ライトや身ぶり

国際大会では足元などにライトを置き、スタートの合図に合わせて明かりをつけて伝えるんだ。選手が見やすい位置から身ぶりで伝える場合もあるよ。

2875

阿部晋也 光った氷の見極め

日本女子は序盤から、狙ったところに石を止めるドロシヨットの精度が良かった。カーリングでは氷の表面の状態が試合ごとに異なり、それを読む「アイスリーディング」が一番大切なのだが、ドロに關してはそれがよく出来ていた。

逆に米国は第3エンドまで氷を読めず、スキップのドロシヨットは短すぎたり長すぎたり。第3エンドまでに70と大量リードを奪えた日本は、楽に試合を運べた。

ただ中盤以降は課題も出た。速いスピードで相手の石をはじき出すテイクショットはチームとして最初からいまいで、第5エンドでもセカンド鈴木が狙った相手の石に当てられずに通り過ぎる「スルー」をしてしまった。ドロだとしてもよく曲がるが、速いスピードのテイクだと通常以上に曲がりが少ない氷だった。このあたりが難しかったのだろう。

ただ米国が試合を早々に諦めず、第9エンドまで出て、課題を洗い出せたことは日本にとっても収穫だった。カーリングの基本はドロだから、これが試合を通じて安定していたのも明らかな材料だ。

総当たりの1次リーグは9試合の長丁場で、15日にはすでに第2、3戦がある。調子の波を出さずに戦い続けることが大切だ。(トリノ、バンクーバー五輪日本女子代表監督)

男子 元世界王者 破る

ここからも勝ってほしい。

カーリング

男女1次リーグが始まり、日本代表女子のLS北見は10-5で米国を破った。日本代表男子のSC軽井沢は、ノルウェーに6-1で勝利。日本男子は、長野五輪以来20年ぶりの白星を挙げた。

長野以来の白星

初出場の男子日本代表SC軽井沢が、初戦で元世界王者のノルウェーを下した。3-3の第7エンド、スキップの両角友は「ここでどうしても2点取りたかった」と難シヨットを選択。これが相手の石を二つ押し出す好シヨットになって勝ち越した。持ち味の「超攻撃型カーリング」での白星発進。両角友は「上のチームに勝つために練習して、作戦を立て、準備してきた。それが出ればこそ」

日本(1勝) 2220101001110
 米国(1敗) 00010101005
 日本(1勝) 01110101016
 ノルウェー(1敗) 10001101014
 ヴィリチン(1勝) 01110102016
 日本(1勝) 01110102016
 (10エンド途中でキープアップ)
 日本(1勝) 両角友、清水、山口、両角公
 ノルウェー(1敗) ウルズル、ネルゴール、スボエ、ベテション
 スウェーデン(1勝) 915テンマーク(1敗)、米国(1勝) 117韓国(1敗)、カナダ(1勝) 513イタリヤ(1敗)、英国(1勝) 615スイス(1敗)、スウェーデン(2勝) 712韓国(2敗)、イタリヤ(1勝1敗) 714スイス(2敗)、カナダ(2勝) 614英国(1勝1敗) (2点)

▽1次リーグ
 日本(1勝) 2220101001110
 米国(1敗) 00010101005
 日本(1勝) 01110101016
 ノルウェー(1敗) 10001101014
 ヴィリチン(1勝) 01110102016
 日本(1勝) 01110102016
 (10エンド途中でキープアップ)
 日本(1勝) 両角友、清水、山口、両角公
 ノルウェー(1敗) ウルズル、ネルゴール、スボエ、ベテション
 スウェーデン(1勝) 915テンマーク(1敗)、米国(1勝) 117韓国(1敗)、カナダ(1勝) 513イタリヤ(1敗)、英国(1勝) 615スイス(1敗)、スウェーデン(2勝) 712韓国(2敗)、イタリヤ(1勝1敗) 714スイス(2敗)、カナダ(2勝) 614英国(1勝1敗) (2点)

Eat Well, Live Well.

Ajinomoto

渡部暁斗は、このアミノ酸を選んだ。

アミノバイタル

amino VITAL GOLD

4000

アミノバイタル

アミノバイタル

味の素(株)は、平昌2018冬季オリンピック日本代表選手団を応援しています。